

手芸と工芸のための形状デザインおよび製作支援技術



講演者：明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科
准教授 五十嵐 悠紀氏

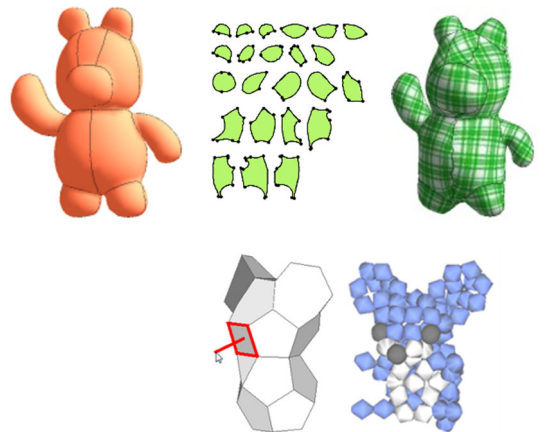
日 時：令和3年8月24日（火）13:30-15:00

実施方法：ネット配信方式（Webex）

申込方法：下記のお問い合わせ担当へ前日までご連絡下さい。
（参加費無料）

講演要旨

オリジナルな手芸作品を設計することは初心者には難しいが、コンピュータグラフィックスを利用することで、初心者でも簡単にオリジナルな手芸作品を設計できるような技術を研究・開発してきたので紹介する。通常、3次元モデリングとシミュレーションは別々の過程で行われるが、我々はモデリングを行いながら並行してシミュレーションを用いることで、布や毛糸の特性を活かしたモデリングを効率良く行うことができることを提案した。ぬいぐるみ、ビーズ細工など、さまざまな手芸作品を題材に、スケッチインタフェースと物理シミュレーションを融合したモデリングツールを提案することで本手法の有効性を示してきた。また、一般ユーザーを対象としたワークショップの開催についても紹介する。



講演者略歴

2005 年お茶の水女子大学理学部情報科学科卒業。
2007 年東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学修士課程修了。
2010 年東京大学工学系研究科にて博士課程修了。博士(工学)。
2010 年より日本学術振興会 PD、2013 年より RPD として筑波大学に所属。
2015 年より明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科専任講師、2018 年より同准教授。

コンピュータグラフィックスやユーザインタフェースの研究に従事しており、特にファブリケーションに力を入れている。アウトリーチ活動としてワークショップなども不定期で開催している。IPA 未踏事業プロジェクトマネージャ兼任。

問い合わせ先：協生 AI x Design 拠点長 宮田一乗
（担当：研究施設支援係 sien@ml.jaist.ac.jp）